

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2018 新春
vol. 18



地域の安全祈願と豊穡への感謝。地元の方に倣っておじぎ。厳粛な文化に触れて…このあとは、さあ、お楽しみの餅まきだ。(平群下)

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「伏姫秋祭りに参加」	
□9～11月の現場レポート	…4	□千葉シニア自然大学	
・主催事業		「秋の宿泊研修旅行」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		松田料理長のおすすめレシピ	
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□会員校・指定管理施設紹介	…12
□1月～3月 CNS ネットワークイベント情報	…8	□スタッフのつぶやき	

一灯照隅

理事長 飯田 洋

明けましておめでとうございます。

皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

また、昨年中は、千葉自然学校に多大なご指導、ご支援をいただき心から感謝を申し上げます。

お陰様で平成29年は、指定管理事業、自主事業及び受託事業など多岐にわたる事業に多忙な時間を過ごし、天候不順などにより事業への影響もありましたが、たくさんの人が係る中で大きな事故もなく年末を迎えることが出来ました。

千葉自然学校の仕事は、多くの時間を野外の活動にあてますが、参加する子どもからシニア世代まで、年齢に関係なく自然の中で元気に活動し、自然の不思議や自然に触れる喜びを感じて欲しいと思う反面、安全・安心を常に願っており、実のところホットしているのが正直な気持ちです。

今年の干支は、戊戌（つちのえ・いぬ）と60年に1度回ってくる年だそうです。

この年は、「今まで頑張ってきた人は、見事に花が開く」との事ですが、設立後15年になる自然学校も、ここまで関係者が一丸となって頑張ってきた成果が花開く年になるかと秘かに期待しています。

15歳は、子どもで言うところの高等学校に入学する年齢となりますが、千葉自然学校がこれからどのように成長して行くか、世の中にどう受け入れられることが出来るか、節目の時期に来ています。

今後とも、これまで培った人・物などの財産をしっかりと守ると共に、時代の変化にも適格に対応できるような人づくり、組織づくりに職員ともども取り組み、世の中の役に立つNPO法人として成長して行きたいと考えています。

この一年が皆様にとって、健やかな年と成りますようお願いしますと共に、引き続きのご支援、ご協力をお願い申し上げます。



「一灯照隅」この後に「万灯照国」と続きます。これは、1つの灯りは隅しか照らせないが、万の灯りは国全体を照らすことができる。転じて、一人一人が自分の役割を懸命に果たすことが、組織全体にとって最も貴重であるという意味の最澄の言葉です。

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

「SDGs」（エス・ディー・ジー・ズ）という言葉をご耳にしたことはありますか？

「SDGs」とは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。

2015年の9月ニューヨーク国連本部において、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える加盟国首脳に参加のもと、その成果文書として採択されたもので、国連加盟国193ヶ国が15年間で達成を目指します。

テーマは多岐にわたります。貧困・教育・飢餓・ジェンダー・健康福祉・安全な水トイレ・エネルギー経済成長・産業技術革新・平等・まちづくり・つくる責任・海の豊かさ・陸の豊かさ・パートナーシップが17の目標です。

自然の家や自然学校でも今まで以上にこれらの視点に沿って環境教育プログラムを進めてゆく必要があります。国内の多くの企業とも「SDGs」を共通言語として様々な接点が生まれることでしょう。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

子どもの教育に関わる研究の中で、東京学芸大学の名誉教授「杉原隆」氏が「(幼稚園等で) 体育の授業を受けている子どもよりも、受けていない子どもの方が運動能力が高い」ということを発表しました。幼稚園児9,000人を対象に運動能力を調査し、結果は体育指導を受けている子どもの運動能力値は30点満点中約18点、受けていない子どもは約19点でした。その理由として、体育指導では同じ動きの反復が多く、動きの種類が限定されること、自主的な運動ではないことなどが挙げられています。



反面、自由な遊びの中では夢中になって、体を動かす(様々な動きがある)ため、運動能力を伸ばすことにつながるということです。杉原名誉教授は小学校3年生くらいまでは遊びを通じた運動を勧めています。

子どもが遊びを通して得られるのは運動能力だけではありません。友達とケンカした時、自分の思い通りにいかなかった時にどう感情をコントロールするのか、心をつくっていくのも遊びです。子どもが自由に遊ぶ場所がない、そんな時代だからこそ私たちはこれからも子どもの遊ぶ場作りを続けていきたいと思っています。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 山口亮介

今年も夏から秋にかけて、たくさんの方がキャンプ場を利用されました。が、今年は天気に泣かされた年でもあります。お盆休み、シルバーウィークなど日取りのいいタイミングがいつも雨。キャンプ場のキャンセルも多く出ていました。雨の中でも合羽を着て頑張ってテントを立てているご家族もいたのですが、笑ってしまったのが何と雨の中、水着でテントを立てていたご家族。

確かに！それならいくら濡れても気になりません。様子を見ていて思わず笑ってしまいました。周りの利用者たちも笑顔で見えていました。雨という逆境でも、ユーモア交じりの(真剣でしたらすいません)アイデアで乗り切ったご家族はとても素敵だと思いました。

雨だから〇〇はしない。というのではなく、あえて雨でも楽しめるような、そんな野外の楽しみを提供できるようになる施設になれたらと思います。



⑨⑩⑪月の現場レポート 《主催事業》

週末・こども

カヌー&フィッシングキャンプ

9/30(土)~10/1(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 小学生
◆カヌー体験/亀山湖で岸釣り/ブラックバス/ブルーギル



参加者13名、スタッフ7名、総勢20名のキャンプとなりました。台風の影響により、従来の日程から延期となりましたが、無事1泊2日のキャンプを実施することが出来ました。

初日は、早速、亀山湖へ出発しカヌー体験。大自然に囲まれながら、子どもはのんびりとカヌーを楽しんでいました。途中、疲れてきても仲間と助け合いながら、ゴール地点の鳥居まで見事たどり着くことが出来ました。

夜はみんなでたき火タイム。森の中から枝を拾ってきて火を囲みながらゆったりと過ごしました。

魚釣りでは、なかなか当たりがこない時も辛抱強く待つことができ、全員が魚を釣り上げることができました。興味のあることに対する子どもの集中力に、改めて驚かされた時間となりました。

週末・こども

釣りきち探検隊③ 防波堤から五目釣り

10/7(土) 木更津市 木更津漁港 小学生
◆五目釣り/餌(青イソメ)付け/ハゼ/カニ



暑いぐらいの秋晴れの中、子ども9名とワイワイ、ハゼ釣りをして来ました。初めて使う道具に興味しんしんです。餌はニョロニョロした青イソメ。女の子は強かった。直ぐに触りだす有り様。男の子は…。

足元に餌を落としハゼをねらいます。餌に飛びつくハゼが見えるこの釣り方は、ドキドキです。あちこちから「釣れたー」の音が響きます！あんなに恐れていた餌付けもへっちゃらです。たくさんハゼが釣れました。

お弁当の後も釣りに出かけましたが、潮が引いてきたのでカニ探しに変更！かずさんがデカイ蟹をゲット。居あわせた漁師さんに蟹のつかみ方を教えてもらいました。

暑い中でも徹底して遊ぶ子ども。最初は出来なくても少しづつできる様になってきます。釣ってやろう、釣りしたい自分の気持ちが心地よく動けばチャレンジが始まります。言われた事で無く自分から。自然の中で身体も心も動かす。ひとりもOK、でもみんなとやればなお楽しい。これからも自然体験を通し、体感、共感、感動を！

週末・こども

古民家に泊まろう！ 秋の里山おまつりキャンプ

10/21(土)~22(日) 古民家泊 南房総市 小学生
◆古民家生活/地域のお祭り/お祭り料理作り/花火



2日間、小雨の降る天候ではありましたが、予定通り活動を実施することが出来ました。里山の古民家生活、そして地域のおまつり体験。「異年齢集団での生活体験。古民家生活や地域のお祭りを通して、日本の文化にふれる」というテーマのもとプログラムを展開しました。今の子どもは、お祭りといえどどんなものか思いつくでしょうか。美味しい屋台や花火は簡単に想像できたと思います。

今回ご参加いただいた子どももそうであったと思いますが、活動を通して、地域の発展や安全を祈願して神を祭る、という人々の想いにもふれることが出来ました。そして、あの場にいたからこそわかる、祭りの人々のにぎわいや神事の厳かな空気、古民家のあたたかさや夜の静けさなど…。様々な非日常、日本の文化を体験しました。それらが、みんなの日常の中に良きものとして、これからもあり続けてくれたらと思います。

週末・こども

森のハロウィンキャンプ

10/28(土)~29(日) 施設泊 君津亀山少年自然の家 幼児・小学生
◆森の素材集め/仮装作り/ランタンづくり/パーティー/クラフト



台風の影響も心配されましたが、予定通りプログラムを実施することができました。

“この世のものではないもの”になりきり、その存在を感じる夜。アウトドアキャンプとはまた違った、ファンタジー要素の多い“非日常”の体験…。みんなは何を求めて参加してくれるのかな？と、その期待に応えられるように今年も準備して参りました。当日何が楽しみかを改めて聞いてみると「お菓子！」との声。…大丈夫、たくさん用意しておきました。

仮装やランタン、フォトフレームを作り、個人でのクラフト作業が多くなりますが、完成したものをお友達にお披露目し、「すごいね！」「がんばったね！」とお互いの工夫を認めあうことができました。

また、毎回工夫が施されるハロウィンパーティーも、魔女からヒントをもらったり、力を合わせてボス大魔王を倒したりと、ストーリーに趣向を凝らしてみましたが、みんなにとってどのような思い出として心に残っているのでしょうか。また来年もみんなと一緒に楽しくハロウィンを過ごしたいと思えます。

日帰り・シニア

房総を古道を歩く！ 房総の古道を巡る③

11/11(土) シニア

◆関東ふれあいの道/高岩観音/三郡山分岐/奥棚下山



千葉の山といたらこの方！ガイドは、千葉の雄、川崎勝丸氏。当日は見事な秋晴れ。絶好のハイキング日和のなか、第3回目の古道歩きがスタートしました。

さて今回はいよいよ鹿野山山脈へ。郡界尾根へとつながる尾根を南下していき、雨乞い祈願の古道を巡りました。国道から登山道ゲートへのアプローチが長く感じますが、初夏に歩いた鹿野山を眺める里山もいいものです。秋深まる房総を存分に楽しむことができました。

千葉の「魅力ある里(自然、人、伝統)」を知る旅「房総の古道を歩く！」もいよいよ残すところ3回となりました。どの回も魅力いっぱいの回となっておりますので、ご参加お待ちしております！

★好評受付中！★

1/20(土)【鹿野山山脈・郡界尾根が出会う深溝の三郡山】
2/24(土)【長狭街道六地藏から裏街道を巡り宇藤木へ】
3/17(土)【手力雄神社・真野大黒信仰厚い山道をたどり里見の稲村城へ】

週末・こども

古民家に泊まろう！ ワカサギ釣りキャンプ

11/18(土)~19(日) 高滝湖 君津亀山少年自然の家 小学生

◆ワカサギ釣り/延べ竿・ルアー/釣れたて素揚げ



昨年度から始まったこの企画は、今年もお陰様で好評の中、実施することができました。家族で前に釣り堀を経験して、そこから興味を持ち始めた、または、初めての釣りだが、チラシをみて…など参加理由は様々ですが、最近の子どもに釣りブームが来ているのか！？というほど、釣り好きな子が良く見受けられます。

ワカサギ釣りキャンプでは、1泊2日とことん釣りをします！釣り具の使い方から釣りの方法まで、釣りに詳しいスタッフのレクチャーのもとみんなに体験してもらいます。とはいえ、魚と一対一の真剣勝負、釣れないこともしばしば。そんな中でもあきらめずに竿を握り続ける子をみると釣りが本当に好きで、楽しいからなのだと感じます。でも、できることなら釣らせてあげたい！そんな思いで見守り、全力でサポートしております！



ネットワーク事業：北総事業部会 「銚子海洋研究所視察」

夏の繁忙期が少しおさまった9月11日、新たに会員校になった「(有) 銚子海洋研究所」へ視察に行きました。

銚子沖は親潮と黒潮がぶつかり合うことで豊かな漁場が広がり、春になると黒潮の流れにのって、小笠原諸島や伊豆諸島からイルカ・クジラ類が北上してきます。そんなフィールドを活かし、ウオッチング船を運航しながら、イルカやクジラ、海についてを伝える体験を行っている研究所。今回は実際に船に乗り、イルカウオッチングを体験させていただきました。

イルカに追われた魚を狙う鳥の群れを頼りに、大海原の波間に目を凝らす…大変でしたが、みんな夢中に！あっという間に時間が経ちました。

北総エリアは、畑の広がる大地もあり、九十九里浜ラインの海もあり…。魅力的なフィールドやそこで活動する人をつなぐ会員校同士の連携を模索しました。(文：石井智子／かみい)



ネットワーク事業 「千葉県観光商談会」



3回に及ぶネットワーク勉強会の集大成として、「千葉県観光商談会」にネットワーク会員校の皆さんと出席してきました。

商談会は、千葉県への来客促進のため魅力的な観光素材を旅行社やメディアに積極的にPRする場として千葉県が主催されているものです。

東京圏を中心とした旅行者・メディアの方々が100団体近く。皆さん初参加ということもありドキドキでスタートしたのですが、15分5セットのマッチングが始まると積極的にPRをし、旅行社の方々の反応を楽しみながら学ばれていました。

旅行社の方々からのフィードバックもとても勉強になりました。「県内と県外どちらが多く体験をしに来ますか？」という問いや「他にはない体験でない選ばない」というフィードバック、「ゴルフ場に体験もののPRをしてみては？」という提案など頂き、体験を提供するターゲットの見直しや体験内容の精査など、改めて考える良い機会となりました。(文：谷慶子／けろっぴ)



受託事業 「ちばの郷土料理の情報収集」

千葉県の「ちばの郷土料理」再発見事業」の受託が決まりました。

豊かな自然に恵まれ、東西南北で環境も風土も大きく異なる千葉県には、数多くの郷土料理が存在します。

その情報をまとめ、2020オリパラを機に千葉の宝として活用していくという3年計画の1年目。今年度は、いったいどれ位の郷土料理が存在するのかという全体像を把握することが目標です。

昔からある料理、最近生まれたB級グルメ、学校給食…どこまでを郷土料理とするのか、また、今後活用できるデータするにはどのような調査が必要か、多面的なアドバイスを頂くため、12月に「有識者会議」を開催しました。

これから本格的に始まる調査は、千葉自然学校とご縁のある皆様にもご協力頂きながら、より情報収集ができればと考えています。「ちばの郷土料理」と聞いて、心に浮かぶ料理はありますか？

■こんな取り組みもしています■

丸の内K I T T Eで南房総みかん・レモン販売

11月18日に丸の内K I T T Eにて、房総の柑橘類PRとアンケート調査のために、南房総のみかんを販売しました。午前中からたくさんのお客さんが見えになり、どんどん売れて、最終的には完売！「南房総でレモンつくってるの？」「おいしそう！」などの声も。都心部でバッチリPRできました♪たくさんの方に魅力を知っていただきたいです。



《指定管理施設の主催事業》

南房総市大房岬自然の家

「穴釣り」

南房総は魚釣りのメッカ。1年中色々な釣りが楽しめます。秋に堤防での浮き釣りや潮だまりでの見釣り、磯場での穴釣りなどいくつかの釣り方で釣りを楽しみました。その中で今回は『穴釣り』についてお話ししたいと思います。

小型のリール竿を使って、ロックフィッシュ（根魚）を狙います。狙いは、カサゴやソイなどです。彼らが住んでいそうな場所に仕掛けを落とし、チョンチョンと煽ります。するとっ！！ググッと強い引きが来たら彼らが食つた証拠です。結構強い引きなのでちょっとエキサイティングですよ。



千葉県立大房岬自然公園

千葉県内各地、東京、神奈川、群馬など関東全域から参加していただきました。大人も子どもも夢中で魚を探ります。彼らとの知恵比べですね。

釣った魚達はその場でさばいて唐揚げにして頂きました。

南房総の海や自然を楽しんでもらうと共に、命を頂くと言う事も感じとって頂けたのではないでしうか？

(文：香山正幸／かやまん)

ファミリーキャンプ教室を開催して毎回感じるのは、子どもがいつの間にかすっかり仲良しになっている事。家族の枠を超えて一緒に火起こしをしていたり、年上の子が年下の子の面倒を見ていたり。



来年のキャンプで会おうね、なんて約束もしていました。はい、来年も開催予定ですので、またお待ちしておりますよー。

(文：山口亮介／こめ)

千葉県立君津亀山少年自然の家

「100人 de サバイバル運動会」

11月23日(木・祝)「100人 de サバイバル運動会」を実施しました。参加者106名の方にお越しいただきました。

家族ごとに色別4組に分かれ、午前中はサバイバル鬼ごっこ。ビニールの尻尾を付けて取られたら負けというシンプルなルールですが、子どもも大人も一緒になって盛り上がりしました。

午後は、火起こし選手権と綱引き選手権。普段なかなか火をつける機会がない子どもも頑張って火起こしにチャレンジしていました。特に「まいぎり式火起こし法」と呼ばれる火きり棒を用いて回転の摩擦熱での火起こしは大人が白熱している様子でした。



最後の綱引きは、これまで活動の集大成をチームごとに発揮しチーム一丸となって頑張ってくれました。順位に関係なく全ての参加者の方が力を出し切りとても生き生きとした表情をしていたのが印象的でした。

(文：工藤圭／しんちゃん)

こんなことにチャレンジしています！

「古民家ろくすけ簡易宿所許可取得」

古民家「ろくすけ」が、一段とこざっぱりとしてより安心して泊まれる住まいになりました。

これまでは、ホームステイの形で子供たちのキャンプ、周辺の生き物観察をする高校生の活動や棚田で米作りをする家族等に宿泊利用をしていただいていたいました。

消防施設やできる限りの耐震工事をして安心して泊まっていただこうと、今年度農林水産省の農泊推進対策事業を活用して整備をしました。

排煙、耐震補強、火災報知設備や非常用照明当消防設備、左官工事等を行って、明るくすっきりとしました。

消防署の許可が出次第、保健所に簡易宿泊所の許可を申請し、3月以降は宿泊できる施設として広報もして、皆さんにご利用いただきたいと準備を進めています。

先日、「ろくすけ」を交流拠点として活動している地元3地区の皆さんで組織されている平群ツーリズム協議会でも話し合いをしました。

「ろくすけ」を宿泊拠点としながら、地域でのハイキングや行事への参加、米作りやミカンなどのオーナー制が進むように地域での受け入れ態勢づくりも必要だね…と確認しました。

あわせて、「ろくすけ」の長屋門や蔵も整備して、「ろくすけ」で木工や畑づくり、食品加工などができるよう一層の整備をして行きたいと予定しています。

その始まりとして、1月には長屋門用の茅刈を千葉自然学校スタッフを中心に関心のある方に呼びかけて実施します。

大勢の皆さんに支えられて「ろくすけ」は、都市と地域の交流拠点として元気に活動してゆきますので、今年もよろしくお願いします。

(文：遠藤陽子／サニー)





1 月

石窯パン作りに挑戦

レンガの石窯でパン作りに挑戦しましょう♪
 【開催日】1月27日（土）
 【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,200 円
 【会 場】館山野鳥の森（館山市）
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

夜の鴨川シーワールド探検

毎年恒例、大人気プログラム！夜の水族館にお泊りしよう♪子どもコースと親子コースがあります。
 【開催日】1月27日（土）～28日（日）
 【対 象】①子どもコース：小学生
 ②親子コース：小学生以上の親子2名～
 【参加費】①会員 22,800 円、一般 25,800 円
 ②会員 大人 23,800 円、子ども 21,800 円
 一般 大人 26,800 円、子ども 24,800 円
 【会 場】鴨川シーワールド（鴨川市）
 【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター
 TEL：043-307-1211 E-mail: yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

焚き火を楽しむウインターキャンプ

南房総のキャンプ場で焚き火の暖かさをより感じる冬キャンプ！冬の澄んだ夜空、月明かりの下、焚き火を囲んで熱々の鍋料理…手作りスモークにも挑戦★テントはソロ（単独）、仲間と共有、おまかせと選ぶことができます。
 【開催日】1月27日（土）～28日（日）
 【対 象】20代～50代
 【参加費】会員 14,000 円、一般 15,000 円
 【会 場】大房岬公園キャンプ場（南房総市）
 【連絡先】ELFIN 体験共育くらぶ
 TEL：0470-55-8322 E-mail: toi-awase@elfin-ee.com

秘密基地づくり

子どもの特権「秘密基地」！グループごとに作ろう♪完成した基地をみんなにお披露目。一番評価された基地は、子ども村に保存されます★
 【開催日】1月28日（土）10時～15時
 【対 象】幼児～保護者（家族・グループ単位で）
 【参加費】1人 100 円 ※幼児無料
 【会 場】エコパーク「大網白里子ども村」
 【連絡先】大網白里子育て支援ネットワーク協議会
 ・ぬく森くらぶ
 TEL：0475-72-8278 E-mail: info@machisapo.net
<http://kosodate.machisapo.net/kodomomura.html>

米粉のもっちりピザ作り

米粉を使うので、小麦粉アレルギーの方も安心！生地作りから焼きまでを体験します。熱々の焼きたてのピッツァでランチタイム♪
 【開催日】1月28日（日）
 【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,700 円
 【会 場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822



2 月

しし（ジビエ）料理三昧体験

殖えすぎたジビエで、ハーブもふんだんにつかってソーセージ、燻製作りを体験します。生態系、野生動物の解説あります。作ったものは試食、お持ち帰り。悪天候の場合体験変更あり。1泊3食。
 【開催日】2月3日（土）～4日（日）
 【参加費】大人 12,000 円、子供 10,000 円
 【連絡先】森林塾かずさの森
 TEL & FAX：0439-35-2114
 E-mail: info-kfs@kazusanomori.com

パティシエキッズキャンプ②お菓子の家

クッキーを焼いて、組み立てて…お菓子の家を作っちゃおう！
 【開催日】2月3日（土）～4日（日）
 【対 象】幼児（年中～年長）、小学生
 【参加費】会員 13,000 円、一般 16,000 円
 【会 場】君津亀山少年自然の家（君津市）
 【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
 TEL：043-224-1400 E-mail: cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

親子スキーツアー&ひとりでスキー

金曜日の夜に千葉を貸切バスで出発して、一路スキー場へ。深夜、現地到着後すぐにお部屋に入っておやすみできます。朝食を食べたら、レッツ・スキー！無料スキーレッスン付きなので、スキーがはじめてでも安心。滑りを覚えたら、もしくは、思い出したら、親子で一緒になってスキーを楽しもう。もちろん、大人はフリースキーでも OK！夜は、レクリエーション大会のふれあいプログラムも用意しています。
 【開催日】①2月9日（金）～11日（日）
 ②2月23日（金）～25日（日）
 【対 象】親子スキーツアー：親子2名～
 ひとりでスキー：小学生～中学生
 【参加費】
 親子スキーツアー：大人 会員 31,800 円、一般 34,800 円
 子供 会員 29,800 円、一般 29,800 円
 ひとりでスキー：小学生 会員 32,800 円、一般 35,800 円
 中学生 会員 34,800 円、一般 37,800 円
 【会 場】たかつえスキー場（福島県南会津郡）
 【連絡先】ハロートラベルヤックス自然学校予約センター
 TEL：043-307-1211 E-mail: yacs-camp@aroma.ocn.ne.jp

クラフトテープを使った小物作り Part2

クラフトテープを使って小物を作ります★
 【開催日】2月17日（土）
 【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】900 円
 【会 場】館山野鳥の森（館山市）
 【連絡先】館山野鳥の森
 TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

安房と上総を結ぶみち『東条みち』をゆく

序（もうけ）神社～林道西嶺線～郷台林道～加勢歩道～亀山神社まで約 18km のハイキング。健脚向き。
 【開催日】2月21日（水）
 【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
 【参加費】1,400 円
 【会 場】内浦山県民の森（鴨川市）
 【連絡先】内浦山県民の森
 TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822



3 月

簡単！燻製作り体験

ダンボール箱や針金ハンガーを使って簡単な燻製作りに挑戦しよう！

【開催日】3月3日（土）
【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）
【参加費】1,600 円
【会 場】館山野鳥の森（館山市）
【連絡先】館山野鳥の森
TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

パティシエキッズキャンプ③ストロベリー

パティシエになりきって、イチゴのスイーツ作りを楽しもう！

【開催日】3月3日（土）～4日（日）
【対 象】年中～年長、小学生
【参加費】会員 13,000 円、一般 16,000 円
【会 場】千葉県立君津亀山少年自然の家（君津市）
【連絡先】ハロートラベル千葉自然学校予約センター
TEL：043-224-1400
E-mail：cns-camp@aroma.ocn.ne.jp

春の草木染め『サクラ』

サクラの樹皮と落ち葉でレーヨンのストールを染めます。媒染と絞りで、自分だけの作品作りを楽しみましょう♪

【開催日】3月4日（日）
【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）
【参加費】1,800 円
【会 場】内浦山泉民の森（鴨川市）
【連絡先】内浦山泉民の森
TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

おとな子どもも飾り炭づくり

自分で持ってきた椿の花や松ぼっくりなどを、飾り炭（花炭）にして飾りましょう♪

【開催日】3月11日（日）10時～15時
【対 象】幼児～保護者（家族・グループ単位で）
【参加費】1人 100 円 ※幼児無料
【会 場】エコパーク「大網白里子ども村」
【連絡先】大網白里子育て支援ネットワーク協議会
・ぬく森くらぶ
TEL：0475-72-8278 E-mail：info@machisapo.net
<http://kosodate.machisapo.net/kodomomura.html>

房総の古道を歩く！

年間 7 回シリーズで古道を歩く最終回。手力雄神社・真野大黒信仰厚い山道をたどり里見の稲村城へ…。

【開催日】3月17日（土）※悪天候順延日 18日（日）
【対 象】山道を 5 時間ほどあるける方
【参加費】5,900 円
【連絡先】NPO法人千葉自然学校
TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net

春休み親子野生塾

大震災以降、生き抜く術を知らない世代が増え…いまではなかなか体験できない、鳥の捕まえ方、解体法、薪作り、火起こしなど、サバイバルを達人が伝授します！池でヤマアカガエルやトウキョウサンショウウオなどの産卵を観察しよう♪

【開催日】3月24日（土）～25日（日）
【参加費】大人 9,000 円、子供 7,000 円
【連絡先】森林塾かすさの森
TEL & FAX：0439-35-2114
E-mail：info-kfs@kazusanomori.com



1 月～3 月

手作り味噌教室

地元の新大豆とコシヒカリの麴を原料に、無添加で本物の味噌を作る寒仕込み教室です。生きた麴を一年間かけて熟成させて出来上がります。一日で一年分のお味噌が作れます。追加オプションでお昼に石釜で焼くピザが食べられます♪

【開催日】1 月～3 月（繰り返し開催。日程はホームページでご確認ください）
【参加費】1 回 2,400 円（味噌 3 k g、追加 1 k g 800 円）※ピザ 1 枚 1,000 円（7 日前までにご予約下さい。）
【申込締切】7 日前（要予約）
【定 員】20 名程度
【持ち物】作業着、ゴム手袋、タオル、持ち帰り用容器
【会 場】「わたしの田舎」谷当工房（千葉市）
【連絡先】「わたしの田舎」谷当工房
TEL & FAX：043-239-0645
E-mail：yatoukoubou@gmail.com
URL：http://satoyamaasobi.com/



通年

そば打ち体験教室

美味しいそばを打ってみたい！初めてでも安心な師範代付きの少人数での教室です。全国各地から厳選したそば粉を使用し、三たて（挽きたて・打ち立て・茹でたて）を体験出来ます。自分で打ったお蕎麦は持ち帰りできます（そばつゆ付き）。こね、打ち、延ばし、切り、まで師範代が丁寧に教えてくれます。

【開催日】毎月第 1、第 3 土曜日
【参加費】1 回 3,500 円、3 回コース 9,000 円
【申込締切】7 日前
【定 員】10 名
【会 場】「わたしの田舎」谷当工房（千葉市）
【連絡先】「わたしの田舎」谷当工房
TEL & FAX：043-239-0645
E-mail：yatoukoubou@gmail.com
URL：http://satoyamaasobi.com/

イルカ・クジラ・オットセイウオッチング

①沖合クジラウオッチング

大海原のダイナミックなクジラ。感動の瞬間を体験してください！マッコウクジラは歯クジラの中でもとびぬけて体が大きく、クジラの中でも代表的なクジラです。

【開催日】11 月～1 月
【出航時間】10:30～（1 日 1 便）
【会 場】銚子海洋研究所（銚子市）
【対 象】10 才以上 定員 30 名
【参加費】大人（高校生以上）7,000 円、子ども 5,500 円

②沖合オットセイ＆イルカウオッチング

オットセイは、優雅に波に漂っているのじっとりと様子を鑑賞することができます。海から顔をのぞかせる、オットセイの愛らしい姿と同時に、この時期早々とカマイルカの先頭集団も回遊してきます。

【開催日】2 月～3 月
【出航時間】10:30～（1 日 1 便）
【会 場】銚子海洋研究所（銚子市）
【対 象】10 才以上 定員 30 名
【参加費】大人（高校生以上）6,500 円、子ども 5,000 円
＜お問い合わせ＞
【連絡先】有限会社 銚子海洋研究所
TEL：0479-24-8870

★他にも楽しいイベントもたくさん！

Web をチェック！ 検索

● ろくすけ日和『伏姫秋祭りに参加』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

11月3日に富山地域づくり協議会「ふらっと」主催の「伏姫秋祭り」に参加しました。伏姫秋祭りは旧平群小学校の校庭や体育館を会場として、地域の児童生徒の作品展示や焼いも・芋煮会、祭囃子などが行われます。当日は気持ちよい秋晴れで、老若男女多くの方が参加されてお祭りを楽しんでいました。中にはイベントに参加してくれた子どももいます。「おーい、だいすけー」なんて気軽に呼ばれるとなんだか嬉しいものですね。

私が所属する「平久里ツーリズムネットワーク」では、今年も地元のお父さん方から協力を頂いて、竹ぼっくり工作や輪投げ、どんぐり鉄砲などを行い、多数の子どもが遊びに来ていました。そして今回は新たな取り組みとして「平久里の生き物合わせ」という神経衰弱カードゲームを行いました。

今年一年ろくすけ周辺で生物調査を行い、カブトムシやヒガンバナなど多種多様な生き物を発見できましたが、せっかくなら調査結果を地域の方にも伝えたいということで、子どもでも楽しみながら知れるゲームにしてみました。

トランプとは少し違うので子どもは最初「？」という顔をしていましたが、知っている生き物が出ると嬉しそうに友達に見せて楽しんでいる様子が見られました。また、大人の方も「あら、うちで良く見るカエル、“アズマヒキガエル”って言うのね」などと、生き物の名前や生態を学んでいました。

地域が高齢化しているという話は良く聞きますが、祭礼や伏姫祭りに参加すると、この地域がいかに力強いかを感じることが出来ます。そんな輪の中に少しでも自分が居られる場所があり、一緒に地域を盛り上げられる、すごく貴重な体験をさせてもらっています。

また来年もより多くの方から名前を呼んでもらえるように頑張り…いや楽しんで過ごしたいと思います。

(文：かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地／だいすけ)



● 千葉シニア自然大学

「秋の宿泊研修旅行(星の観察会&南房総方面)」

秋の宿泊研修旅行は、これまで9月末頃に実施してきましたが、今年は「きみかめ号」バスをチャーターし、11月23日ー24日の祝日に重なった時期に一泊二日の開催としました。

JR君津駅に集合し、朝9時に出発。生憎の雨模様でのスタートでしたが、最初の訪問地「大山千枚田」での解説を終え出発する頃は雨も上がりだし、昼食を摂った「ろくすけ」では、陽がさし始め、昼食後の「平群ツーリズム」は青空の下で予定通り1時間30分の行程を歩きました。

その後、「峰岡牧場」から徒歩で20分登った「柚子の里」の柚子狩りで沢山の柚子を収穫し、豊かな気分でバスに戻り、宿泊地の「くすの木」に向かいました。

お風呂と盛り沢山の夕食を済ませて、望遠鏡作りに取り掛かります。高梨直絃先生の指導で、あのガリレオが観察に使用したものより上級の望遠鏡が皆出来ました。さて、外での観察会となるのですが、生憎の曇り空で、今年も残念ながら星の観察会は出来ずじまいとなりました。その後、懇親会となりビール、日本酒などでやっとくつろぎ、和気あいあいと賑やかな宴会が続いて行きました。

さて、二日目は快晴の下、目指すは布良の「小谷家：青木繁の“海の幸”制作地」と、「あいどの浜」の見学と散策。布良神社で戴いた“甘酒”はおいしかったです。そして、「相浜亭」の海鮮丼は食べきれないほどの量で、新鮮な魚を堪能しました。

盛沢山の行程と、それぞれで沢山の思い出を受けて、満足感に浸った研修旅行になったのではと勝手に思っています。

(文・写真：吉岡章次)



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの郷土料理のお話～

今年度、千葉県では「暮らし満足度日本一」を目指して子育て支援、くらしの安全安心の確保や2020年東京五輪・パラリンピックに向けた準備が行われています。その一環として、県農林水産部流通販売課は「食のおもてなし力向上事業」を実施し、その中で「ちばの郷土料理」再発見事業を行うことになりました。

NPO法人千葉自然学校では、これまで「揚げ重パーティー」や「郷土料理塾」を開催して、ちばの郷土料理の魅力発信と保存伝承に努めてきたことから、ぜひこの再発見事業に係りたいと応募して幸いなことに事業を受託し実施することになりました。

先日、有識者会議で事業の進め方等について多様なご意見をいただきました。今年度は、県内各市町村や団体・個人の皆さんにも調査をかけて「ちばの郷土料理」のリストの作成を行います。

現在、既存資料を読み込みながら、元となる調査資料を作成していますが、とても面白いです。お正月に海匝地域で食べられる「かいそう（けいそう）」は大正6年の秋、大飢饉に見舞われた飯岡町上永井の飢餓を救った食べ物だったとか、新鮮な鰯をたたいて作る「なめろう」は船上で始まった漁師料理で食べ終わった皿をなめるほどに美味しいところから名前がついたとか…それぞれに由来があり暮らしの歴史を感じさせてくれます。

（文：遠藤陽子／サニー）

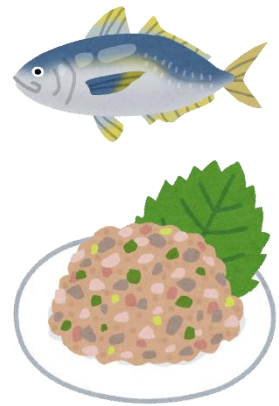
なめろう （4人分）

【材料】

中鰯…8尾 味噌…大さじ2 紫蘇の葉…6枚 生姜…2かけ

【作り方】

- ①鰯は3枚におろし、皮、骨をとる。
- ②よく水分を取り、まな板の上で包丁でよくたたく。味噌を加えて照りが出るまでよくたたく。
- ③紫蘇の葉2枚は千切り、生姜はみじん切りする。
- ④皿に紫蘇の葉を敷き、鰯のたたきをのせ、表面をたらにして包丁で碁盤目に筋をつける。
- ⑤千切りした紫蘇の葉、みじん切りした生姜を散らす。



松田料理長のおすすめしじじい～魚の卸し方～

12月3日に千葉自然学校のスタッフに魚の卸し方の講習会を行いました。他の団体にも過去に数回行いましたが、その際も大人から子どもまで魚を怖がらずに楽しく卸していました。

日本人は、昔から食材をいかにおいしく食するかを研究していると思います。食材によって使い分けられる包丁の種類の多さが、それを物語っています。

魚の卸し方では、三枚卸し・五枚卸し・大名卸しがあり、その中でも関東と関西の卸し方の手順も違ってきます。包丁も子出刃・出刃・愛出刃・柳・蛸引き・薄刃・牛刀等々他にもたくさんあることから、地域や文化によって様々に変化したと考えられます。

魚を美味しく美しく食べる技。この文化を大切にして行きたいので、興味のある方は大房岬自然の家までご連絡下さい。

（文：松田光央）



●団体会員（34団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団、「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、(株)かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、(一社)森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団、(有)銚子海洋研究所、東京クラシッククラブ、ワイズスノー&アウトドアスクール

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家(千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園(平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家(平成20年4月～)



千葉県立大房岬自然公園



南房総市大房岬自然の家



千葉県立君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(平成16年5月～)
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ(平成26年4月～)

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。

また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

千葉事務所のスタッフが
毎回一言つぶやきます。
お見逃しなく!

■近頃、技術立国日本の立場が、危うくなっているのではと思うような事が次々と起こっています。それも日本を代表するようなグローバルな企業ばかりです。歯車がどこかで違って来てしまったのか、もう一度原点に帰ることを真剣に考えてみる必要があると思います。私たちの活動もこうした状況を「他山の石」として、「自分たちの仕事の足元を見つめ直す時期にあるのでは」と一年のはじめに考えています。

(オーシャン)

■食べることは生きること！今年も食を大事にします。(サニー)

■スキーシーズン到来と共に身体のシェイプアップも忘れずに実行しよう。(ボクサー)

■外来種の駆除と在来種の保護を目的に池の水を抜く事が番組になる時代になってしまった…。(ぺったん)

■季節の変わり目、どうやら毎年この時期、風邪をひいているようです。みなさんの風邪予防教えてください。(たこはち)

■新年あけましておめでとうございます！心新たに、楽しみながら日々精進☆(けろっぴ)

■神奈川県郷土料理一思い浮かばず…。皆さんの故郷の郷土料理はなんですか？(かつを)

■季節の変化と共に、食材や調理方法も季節仕様。四季ある日本の楽しみです。(のりべん)

■この1月で入社10年目に。次の10年に向けて大切な1年になりそうです。(らうす)

■今年は、戌年！健(犬)康第一で仕事も私生活もワン！ラックアップ！(さぼてん)

《編集後記》

「戌年に 飼猫の写真をどう加工して作ろうか悩む 年賀状(字余り)」犬の着ぐるみを着せるか、ワンと喋らせるか…悩んだ結果、結局無難に。今年も宜しくお願いします！(かみい)

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～
寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご支援いただける方はぜひご支援ください。

▼振込先(郵便局)▼

【郵便振替口座番号】00170-5-259431

【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校

▼振込先(銀行)▼

千葉銀行 千葉駅前支店 普通 3740275

特定非営利活動法人 千葉自然学校

【寄付金額】3,000円より

※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター(年4回発行)

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

ホームページ：<http://www.chiba-ns.net> メールアドレス：info@chiba-ns.net

